

私たちは、 お客さま・株主の皆さま・ 地域社会のご期待に 応えてまいります。

金融機関を取り巻く環境は大きな変革の時を迎えております。
 ほくほくフィナンシャルグループでは、
 これらを企業価値向上の機会ととらえ、
 積極的に取り組むと同時に、
 金融機関としての公共性を十分に認識し、
 お客さま、地域社会とともに発展することを目指した
 CSR(企業の社会的責任)を推進し、
 株主の皆さまや社会からのご期待にお応えしてまいります。



CSRの基本方針

1 方針

当社グループは、CSRを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経営理念のもとに、法令を遵守し倫理的行動をとることを基本とし、広域地域金融グループとして本業を通じた地域貢献を主軸とした上で、環境、社会へ配慮した活動を積極的に行うことで、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

2 定義

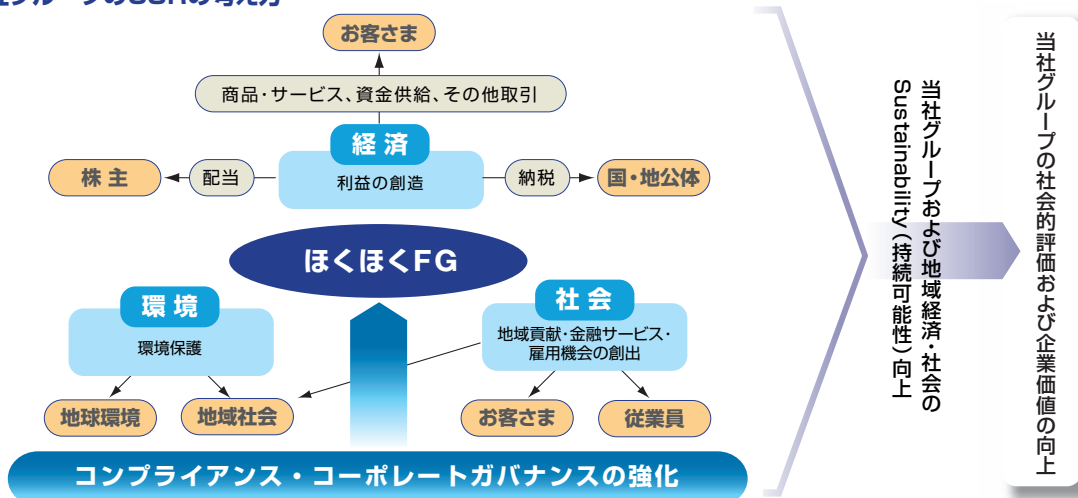
(1) CSR (Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任)

「当社グループ、地域経済および社会の持続的発展のために、経済的な利益を追求するだけでなく、環境、社会貢献などさまざまな社会問題に配慮する等、当社グループと利害関係を持つすべてのステークホルダーに対し果たすべき責任。」と定義しております。

(2) ステークホルダー

当社グループの利害関係者すべてとし、特に「**お客さま、地域社会、株主、従業員**」を重視して取り組みます。

■ 当社グループのCSRの考え方



地域のお客さまとの絆を 何より大切にします。



私たち一人ひとりがお客さまとのコミュニケーションを深め、
求められることを的確に読みとり
サービスや商品に反映させていきます。

当グループでは地域のお客さまとの絆をより深め、一層の満足をご提供するため、地域に密着しながらお客さまの声を吸収し、それを反映させたさまざまなサービスの改善や商品の開発に努めております。

健康保険の自己負担増加や三大疾病（悪性新生物・急性心筋梗塞・脳卒中）の増加に伴い、お客さまの医療保障に対する関心はますます高まってきています。北陸銀行・北海道銀行では、銀行での保険販売の全面解禁に伴い、個人向けのお客さまを対象とした「医療保険」および「がん保険」の販売を開始いたしました。

また、多様化するお客さまのニーズにお応えするため、お客さまのお取引内容に応じて各種の優遇を行う「ポイント倶楽部（北陸銀行）」「ステップDo（北海道銀行）」をリニューアルし、また、「Doポイントクラブ（北海道銀行）」では全国ブランドのみならず、地域に密着している北海道内



企業とのポイント交換を実現いたしました。今後とも、さらに多くのお客さまにご利用いただきたいと思います。

CS（顧客満足度）のさらなる向上

北陸銀行 「ほくほく笑顔宣言」
北海道銀行 「どさんこバンク宣言」

店舗づくり



- 北陸銀行**
- ・「金沢金融歴史資料館」開設
 - ・勝山支店を町屋風に改装
- 北海道銀行**
- ・「車椅子対応化」方針決定
 - ・自動ドア化・スロープの設置

個人向け資産運用セミナーの開催

- ・金融スクール
- 「道銀アカデミックカフェ」



新商品・サービスの開発

- 北陸銀行**
- ・「医療・がん保険」販売開始
 - ・ポイント倶楽部優遇拡大
 - ・子育て支援優遇制度の拡大
- 北海道銀行**
- ・「新ステップDo」取扱開始
 - ・「Doポイントクラブ」取扱開始
 - ・「医療・がん保険」販売開始

利便性の向上

- ・振り込み詐欺防止ステッカー貼付
- ・イオン銀行とのATM提携

北陸銀行

- ・福邦銀行とのATM相互無料開放実施
- ・サービス・ケア・アテンダントの配置
- ・コミュニケーションボードを全店設置

北海道銀行

- ・セブン銀行との提携
- ・「メディアDo」の運用開始
- ・コンビニ収納サービス契約自治体の拡大



質の高いコンサルティング サービスを目指します。

もっと

企業のお客さまへ

広域ネットワークを最大限に活用し、
地域の特性に応じた商談会や
ビジネスマッチング業務を展開し地域の繁栄をサポートいたします。

平成11年より札幌にて継続して開催している「北海道ビジネスフォーラム」、また経営統合を機に平成16年9月に初めて北陸地区で開催した「ほくほくFGビジネスフォーラム」など、当グループの広域ネットワークを活用したビジネスマッチングの取り組みを積極的に行っております。

また、全国的に「食」への関心が高まるなか、当グループの営業基盤である北陸・北海道が強みを持つ医薬産業や食品を全国に共同発信する商談会の開催を通じ、広域地域金融グループとしてお客さま相互の新たな出会いの創造に努めております。商談会の実施にあたっては、ご参加いただくお客さまのニーズを事前に十分把握し、より多くのお客さまに実りある商談機会をご提供させていただいているほか、事後のフォローを徹底するなど1件でも多くの商談が成立するよう徹底したサポートをさせていただきます。

さらに、お客さまの多様化するニーズに対応するため、



事業承継やM&A、人事・賃金制度等の経営戦略、社債発行やデリバティブ、債権流動化等の財務戦略、情報システム化等の情報戦略についてのコンサルティング業務に積極的に取り組み、質の高いサービスのご提供に努めております。

ビジネスマッチングの取り組み（19年度～20年度）

- 平成19年 5月 「ビジネスサミット2007in名古屋」
- 9月 北海道の「食」特別商談会in札幌
- 9月 「食」のサミットin金沢
- 11月 北海道ビジネスフォーラム2007
- 平成20年 3月 物産セレクションin富山
- 6月 ビジネスサミット2008in名古屋

上海での商談会

- 平成17年12月 「中国ビジネスマッチング商談会in上海」—— 地銀5行
- 平成18年 7月 「地銀八行合同商談会in上海」—— 地銀8行
(地銀が架ける日中の架け橋「ふるさと商談会2006」)
- 平成19年 6月 「全国地銀合同商談会in上海」—— 地銀11行
(地銀11行が架ける日中の架け橋「ふるさと商談会2007」)
- 平成20年 7月 「全国地銀合同商談会in上海」—— 地銀12行
(地銀12行が架ける日中の架け橋「ふるさと商談会2008」)

広域ネットワークにより他に類のないビジネスモデル



地域企業の皆さまの海外進出を きめ細かくサポートします。

もっと
企業のお客さまへ

グローバル化の進展により、ますます活発化する
お取引企業の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、
当グループは海外ネットワークの充実に努めております。

中国への進出が盛んになった平成15年に中国関連取引先を組織化し「ほくりく長城会」を設立しました。その後、「ほっかいどう長城会」、「上海長城会」そして「ほくほくASEAN会」を設立し、中国・ASEANへ進出、あるいは今後進出する企業に対し進出に関する各種ノウハウの提供やセミナー・勉強会等を通じて、お取引企業の海外進出をサポートしております。

平成17年12月開催の「中国ビジネスマッチング商談会in上海」を皮切りに、今年7月の「全国地銀合同商談会in上海」まで毎年開催しており、お取引企業から中国企業との貴重な商談の機会として感謝されております。

当グループでは、平成14年の「中国銀行との人民元建融資に関する契約」をはじめ、タイのカシコン銀行、スタンダード・チャータード銀行そしてインドステイト銀行と業務提携を結び中国・ASEAN・インドの有力銀行との提携戦略を進めております。また、平成16年の大連市との経済協力協定締結以降、



中国では瀋陽市・上海市・遼寧省・長春市・蘇州市・広東省・ハルビン市と、またベトナム政府とも経済協力協定を結んでおります。このように、当社グループとして、アジア地域にお取引企業が進出する際の各種情報提供や手続きに関するきめ細かいサポートが行えるよう、支援態勢の充実に努めております。

海外の行政機関との協定

| | | |
|--------|--------|----------|
| 16年10月 | 大連市 | (北陸銀行) |
| 17年11月 | 瀋陽市 | (北海道銀行) |
| 18年4月 | 上海市 | (ほくほくFG) |
| 18年9月 | 遼寧省 | (ほくほくFG) |
| 18年11月 | ベトナム政府 | (北陸銀行) |
| 19年3月 | 長春市 | (北海道銀行) |
| 19年6月 | 蘇州市 | (北陸銀行) |
| 20年2月 | 広東省 | (ほくほくFG) |
| 20年6月 | ハルビン市 | (北海道銀行) |

外銀との提携

| | | |
|--------|-----------------|--------|
| 17年12月 | タイ・カシコン銀行 | (北陸銀行) |
| 18年7月 | スタンダード・チャータード銀行 | (北陸銀行) |
| 19年9月 | インドステイト銀行 | (北陸銀行) |

お取引先企業の会員組織 (20年3月現在)

| 会員組織 | 会員数 |
|------------|------|
| ほくりく長城会 | 530社 |
| ほっかいどう長城会 | 258社 |
| 上海長城会 | 150社 |
| ほくほくASEAN会 | 150社 |

環日本海・東南アジアに地銀随一のネットワーク



対話と情報開示を さらに実行してまいります。

もっと

株主の皆さまへ

国内においては毎年2回機関投資家向け会社説明会を行っています
が、3月に北陸で初めて富山・石川・福井の7ヵ所で個人投資家向け説
明会を開催いたしました。

一方、海外においては、これまで米国と欧州でIRを実施してまいりま
したが、2月には中東でのIRも実施いたしました。今後もこうした株主・
投資家との積極的な情報開示とコミュニケーションを継続的に行っ
てまいります。



投資家・アナリスト向けIR

19年11月
平成19年度中間決算説明会
参加者：118名(東京)

20年5月
平成19年度決算説明会
参加者：136名(東京)

海外IR

19年7月
欧州(フランクフルト・ミラノ・パリ)
米国(ニューヨーク・ボストン・サンフランシスコ)

20年2月
中東
20年7月
北米(ニューヨーク・ボストン・トロント・シカゴ)

個人投資家向けIR

20年3月
富山・高岡・砺波・魚津・金沢・
小松・福井の7ヵ所で開催
参加者：計865名

株主総会

20年6月
第5期株主総会：富山
(中継会場：札幌)



社員一人ひとりの満足度を高め 魅力に富んだ職場をつくります。

もっと

従業員へ

従業員の満足度が高い魅力ある職場環境を作ります。

当グループでは、従業員の個性やライフスタイルを尊重したキャリア
プランに沿って、集合研修、職場教育、自己啓発制度や海外を含めた行
外への派遣研修など多様な能力開発プログラムを実施しています。ま
た契約社員の行員登用や、育児・介護休業、各種休暇制度など、ワーク
ライフバランスのニーズに対応する制度を採用し、従業員の満足度の高
い職場環境の整備を図っています。



教育研修制度

集合研修(階層別・業務別)、職場教育(OJT)、
自己啓発、各種トレーニー、行外・海外研修

キャリア開発制度

コース転換制度、契約社員行員登用、社内公募制度

子育て／介護への支援策

育児休業・介護休業、看護休暇制度、短時間勤務制度

ゆとり創出

各種制度休暇(1週間連続休暇、リフレッシュ休暇、
アニバーサリー /バースデー休暇など)、
半日有給休暇制度

積極的な採用活動

初任給改定、
「女性のための就職セミナー」開催 (北陸銀行)

地域社会と共に歩み、必要とされる活動を行っています。



地域に根ざす良き企業市民として、積極的な社会貢献活動に取り組んでいます。北陸銀行では、高岡開町400年に合わせ、「近世高岡の文化遺産群」の世界遺産登録実現のため応援広告を設置し、「高岡の宝を世界の宝へ」を合言葉に世界文化遺産登録を目指し活動しています。

北海道銀行では、2月に北海道銀行合唱団を含む4つの合唱団によるチャリティコンサートを開催し、障がいをお持ちの方々をご招待したほか、チケット販売代金の全額を北海道社会福祉協議会および札幌市社会福祉協議会に寄附いたしました。



金融教育

- ・札幌市主催「こどものまちミニさっぽろ2007」に「ミニほっかいどう銀行」として参加
- ・地元小中学生の銀行見学会
- ・高校への講師派遣、インターンシップ制度
- ・地元大学における金融関連講義の講師派遣



芸術文化支援等

- ・チャリティコンサートの開催
- ・ライラックコンサートの開催
- ・「めざそう世界文化遺産」応援広告を設置

「富山市災害時等協力事業」として第1号登録



環境の維持・保全に配慮し さまざまな課題に取り組んでいきます。



近年、社会の地球環境に対する意識が高まっており、環境に調和し持続可能な社会を構築することは、私たち人類の大きな課題です。

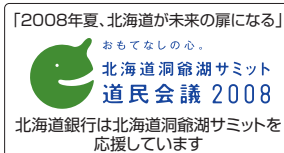
当グループでは環境に配慮した企業活動への融資など、金融機関としての本業を通じた取り組みを進めているほか、オール電化住宅や太陽光発電システム等、温室効果ガスの排出を抑制する機能を備えた住宅等の普及のため「環境配慮型住宅ローン」等をご用意しております。

7月に開催された北海道洞爺湖サミットにおいては、サミット準備組織に行員を派遣したほか、投資信託「環境ファンド」の販売手数料の一部を寄附する等の支援を行いました。



北海道洞爺湖サミット支援

- ・「環境ファンド」の手数料一部寄附
- ・報道関係者に環境に配慮したステーションナリーキット(文具品等)を提供



エコキャンペーン

レジ袋削減を応援するべく、マイエコバッグを提供

環境配慮型ローンの取り扱い

環境配慮型住宅の融資支援

環境保全に取り組む企業をサポート

他行との「環境融資等に関する業務協力協定」締結
環境ものづくり企業を紹介するテレビ番組「北モノ語り～エコ新書～」の提供

